

# 令和4年産 ヒノヒカリ 特別栽培米こよみ

安全・安心・人吉球磨の  
おいしいお米!!

機械移植基準日 6月5日~15日

1. 土づくりの徹底：◎完熟堆肥の投入 ◎スーパーエンリッチ1号 60kg投入
2. 種子更新の徹底
3. 健苗育成
4. 適正な水管理と適期防除励行
5. 適期刈取励行と乾燥調整適正化(玄米水分15%・整粒歩合80%以上・網目1.85mm以上)
6. 食味及び品質の向上(タンパク含有量6.5%以下)

令和4年1月作成

## 美味しいお米づくりのポイント

**① 種子準備** (種子更新徹底)  
**② 塩水選** (もみ枯細菌病)  
**③ 袋詰め** (シンガレンチュウ)  
**④ 温湯消毒** (乾もみ)  
**⑤ 浸種(予浸)** (芽出し)  
**⑥ 土入れ** (管理手順)  
**⑦ 灌水** (灌水)  
**⑧ 播種** (播種)  
**⑨ 覆土** (覆土)  
**⑩ 育苗管理** (育苗管理)

**参考 浸種日数**

品 種	積算温度	浸種の目安
ヒノヒカリ	100℃	水温18℃ 5~6日

**浸種箱当り 180g**  
**浸種箱当り 120g**

この表はあくまで目安です。気象条件、地力、施肥量等により変わります。

項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月
稲の生	中	上	中	下	上	中
生育期	播種期	育苗期	移植期	有効分げつ期	無効分げつ期	穂の発育期
主な作業	種子の予備	苗の徒長防止	基肥	田植	溝切り	中干し
病害虫		葉いもち	ツマグロヨコバイ・セジロウカ			穂いもち
基幹防除		アンコール箱粒剤	ブライオリティ		スタークル粉粒剤DL	カスミン液剤

### 熊本県推奨うまい米基準

基準	項目	Sランク
生産基準 (栽培方法)	特別栽培米	必須
	種子更新	必須
	地域の耕種基準を順守	必須
品質基準 (玄米)	タンパク質含有率	6.5%以下
	検査等級 (農作物検査)	1等
	篩目(ふるいめ)の大きさ (調整方法)	1.85mm 以上
品質基準 (精米)	水分	14.0~ 15.0%
	色彩選別	必須

### 施肥基準

この他、設計については営農センターへお尋ね下さい。

肥料設計1	肥料設計2	肥料設計3
堆肥: 完熟堆肥2,000kg 土作り資材: スーパーエンリッチ1号 60kg	堆肥: 完熟堆肥2,000kg 土作り資材: スーパーエンリッチ1号 60kg	堆肥: 完熟堆肥2,000kg 土作り資材: スーパーエンリッチ1号 60kg
施用時期	施用時期	施用時期
肥料名	肥料名	肥料名
施肥量	施肥量	施肥量
成分量	成分量	成分量
N	N	N
有機態N	有機態N	有機態N
P	P	P
K	K	K
合計	合計	合計

### 箱施用剤

必ず指定量使用

農薬名	1箱当たり使用量	使用時期	主な対象病害虫
アンコール箱粒剤	50g	移植3日前~移植当日	いもち病, 白葉枯病, コブノメイガ, ウンカ類, ツマグロヨコバイ

### 除草剤使用基準

項目	農薬名	使用時期	使用量(10a)	備考
一発除草剤	粒剤	移植直後~ノビエ3.5葉期 但し、移植直後30日まで	1kg	玉ねぎ、ナス さやえんどうに影響
	ジャンボ剤	移植直後~ノビエ3.5葉期 但し、移植直後30日まで	10パッフ(250g)	

### 農薬使用基準

※下記の農薬以外は使用できません。

対象病害虫	農薬名	使用量・希釈倍数	使用基準(収穫前)	備考
いもち病	カスミン液剤	1000倍	穂揃期迄	2回以内
いもち病 穂枯れ	ノンプラス粉粒剤DL	3~4kg	7日前迄	どちらか1剤 (1回のみ)
	ノンプラスフロアブル	1000倍	7日前迄	
紋枯病	バリダシン粉粒剤DL	3~4kg	14日前迄	どちらか1剤 (1回のみ)
	スタークル液剤5	1000倍	14日前迄	
カメムシ類	スタークル粉粒剤DL	3kg	7日前迄	どちらか1剤 (1回のみ)
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	7日前迄	
ウンカ類	MR.ジョーカー粉粒剤DL	3~4kg	7日前迄	どちらか1剤
	MR.ジョーカーEW	2000倍	14日前迄	(1回のみ)

**農薬散布の注意** 農薬は、使用基準を守って正しく使しましょう!  
 ※本田防除剤バリダシンの有効成分バリダマイシンについては、節減対象農薬でない為、成分回数にカウントしていない。  
 ※本田防除剤カスミンの有効成分カスガマイシンについては、節減対象農薬でない為、成分回数にカウントしていない。  
 ※薬剤使用にあたっては、必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。  
 [本基準は令和3年12月現在の登録内容を記載しています。]